

ローズライフ

Rose Life

Vol.30
冬 2017

新春号



願い、祈り、感謝する。
心に宿る仏性に幸あれ。
京仏師が彫り出す仏像のかたちとところ

こころまちつくろ
KEIHAN
京阪ライフサポート

見返り観音像 拈華微笑 桂材 一木造
櫻井覺山
撮影：櫻井桂永子

発行 京阪ライフサポート株式会社 〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町14番10号 京阪くずは駅ビル南館3F 電話072-8680321



絵手紙教室で書いた作品

ここでの毎日は忙しいんですよ。毎朝のストレッチや、フィットネス、レッドコードを使った運動。ホーム内の手作り工房、囲碁クラブに参加したり、外部の絵手紙教室にも通っています。それに、リハビリを兼ねて続けている大正琴のお稽古、月一回の特別メニューも皆様と一緒に楽しんでます。旬のおいしいお料理をいた

だくこの日は、少しおめかしをしてね。(笑) もともと好奇心旺盛でしたが、最近は体調も安定してきましたので、ますます何でもやってみたくなりました。(笑)。入居者同士がお友だちになって、悩みや体のこと、昔話など心を開いてお話しています。私は大病をして人生観が変わりました。もっと自分のために生きよう！って。いろいろな方とご縁やタイミンング、亡くなった主人にも感謝して、私は今、ほんとうに幸せ。(ローズライフ高の原 自室にて)



ローズライフ
インタビュー

清田浩子さん

73歳
(昭和18年生まれ)
平成23年ご入居

ご縁とタイミンング、お仲間にも恵まれ
私は今、ほんとうに幸せ。

京阪グループの「新しい介護付住宅」

ローズライフ 京都 Rose Life Kyoto

西大路五条すぐ、京都市立病院北隣。見学会受付中!



常に介護を必要とされる方に...

ホーム見学会 1/21(土) 2/12(日) 25(土) 3/12(日) 10:30~14:30~

こころまちつくろ
KEIHAN
京阪ライフサポート

☎ 0120-381-602

ローズライフ 🔍 検索

京都市中京区
壬生東高田町1番23



制約の中に自由あり。修業時代から 今も変わらぬ京仏師の信条。

仏師である父（櫻井琮山）の背中を見ながら育ち、記憶では五歳の頃、父から角柱を渡され、これを円柱にするよう言われたのが仏師としての第一歩だったのかもしれない。形を作るだけでなく、木のくせや目を読む力が養えるよう、加えて五歳の子どもが安全に刃物を使えるよう、



櫻井琮山作：平成29年酉年の守り神「不動明王」

父なりに考えた練習方法だったんですね。

私には二歳年上の兄（京仏師・櫻井琮夕）がいます。子ども心に、仏師として父の後を継ぐのは兄で、私は違うんだと思っていました。それでも兄と競うように彫刻の練習をし、父と仏像について話がしたくて遮二無二仏像の勉強した時期もありました。仏様についての知識を得ることが楽しかったんですね。十五歳で父に弟子入りし、ときどき父の仕事を手伝うようになりました。仏像を彫ることが怖くなることもありましたが、父はどっぴりと仏師の世界に入り込む前の、私の自由な感覚を尊重してくれていました。この自由な感覚は制約の多い仏像づくりにおいて、今も私が大切にしていることのひとつです。



櫻井佛像彫刻工房 京仏師 櫻井覺山さん
平等院の雲中供養菩薩を見た時の衝撃が、
仏師として成長する大きなきっかけに。

自由な感覚を尊重してくれていました。この自由な感覚は制約の多い仏像づくりにおいて、今も私が大切にしていることのひとつです。

時代の空気感を纏わせて 今を生きる人々の心に響く仏様を。

仏師はいわゆる彫刻家でもアーティストでもありません。自身の作品を主張するのではなく、「三十二相八十種好」という仏様を彫る際の約束事を守り、そこに時代を感じさせることが大切だと考えています。

仏像は時代によって様式が異なり、それはその時代を表現しています。例えば、藤原時代の様式は、丸みのあるお体に一切のくぼみを作らず、お衣は浅く彫るのが特徴です。また、鎌倉時代のもものは、彫りがくつきりと力強くなります。修復の場合は別として、新しい仏像を彫る場合は、時代の空気感を出すことで、今を生きる人々の気持ちに届く仏様になるのだと思います。

製作段階としては、まずご依頼主の話をしっかりと聞いてイメージ図を描き、そこから時によつては原型を作り、そこから起こした図面を木に写し鋸で大まかに、木取りをします。そこから粗彫り、小作り、仕上げと進みます。材料はさまざま、檜、桂、桜、楠、かや、白檀など、

仏様の雰囲気やお役目に合わせて選びます。工程としての完成を目指すのではなく、発願した方の思い、勧進する方、祈る方、様々な人の思いに応え、人々の心に響くようなものでなくてはと思っています。

仏像づくりに興味がある方は、工房の二階で教室を開いているのでお尋ねください。ご自身と向き合い仏様と向き合い、無心に彫る時間を楽しんでいただければと思います。



東北大震災の際、被災された方々へ寄贈した「わらべ地藏」



櫻井佛像彫刻工房 玄関

いきいき 30 健康寿命をのばそう

歩行前の心がけ。 足部や靴選びに気を配り、 若々しく、颯爽と歩こう！

このコラムがスタートした時から、私はずっと『誰でも、いつでも、どこでも、簡単にできること』をポイントに健康や暮らしについてお話ししてきました。中でも歩くことは最も身近で手軽にできる運動ですから、それを支える足部のケアを前回に引き続きご紹介します。

最初は足部と足首のストレッチ。足部は足指をグーにして五秒、開いて五秒。次に足首を左右にゆっくり回してやわらかく。そしてつま先立ちを十回ほど繰り返して、ふくらはぎから足首を伸ばします。たったこれだけのストレッチをするだけでも血



京阪ライフサポート株式会社
ローズライフ事業部 眞藤英恵
ケア事業部 部長
理学療法士。病院、在宅訪問で高齢者ケアと健康増進に携わり、2003年入社。現在に至る。

流が良くなり足元も軽やか、捻挫などの予防にもなります。

そしてもうひとつ大切なのは靴選び。靴は甲を包み込み、月型部分がしっかりとしていることがポイント。先が細過ぎると足指の踏ん張りが効きにくく、靴のクッションが柔らかすぎても踏ん張る力が損なわれるので要注意です。プロのアドバイスを聞いて本当に自分の足に合った靴を選んでいただきたいと思います。

足部や足裏のケア、靴選びを見直して元気に歩き、健康寿命を伸ばしましょう！



つま先立ちしてかかとを上げ下ろし。ふくらはぎにも効果的です。



靴選びは、甲の部分と月型のフィット感をチェック。

原の新店探索

和の趣とあたたかなおもてなし フレンチレストラン「ミルフィュー」

永年リーガロイヤルホテルで腕を振ったシェフのフレンチは、日本人の繊細な味覚や感性を大切にしたい優しい味わい。これからの季節なら、魚介類をたっぷり煮込んだブイヤベースやポトフ、グラタンなどの熱々メニューがおすすめです。蔵をイメージした印象的な外観と、大正ロマンを彷彿させる和モダンなインテリア、きめ細やかなおもてなしに、まごころを感じるお店です。

奈良市朱雀1-8-7 Tel/Fax 0742-70-3388
営業時間: 11:30~14:00 (予約可)、18:00~21:00 (要予約)
定休日: 毎週火曜日

京のお菓子歳時記「新春」

江戸時代から使いこまれた職人の魂。 お菓子の木型

菓子型は幅の狭い羽子板のような形をしています。木地は桜。古いお菓子屋には、お寺や神社の紋や季節の木型がたくさんあって、代々大切に受け継がれています。お菓子が主役で、決して表に出ることのない道具ですが、木型を彫るのもまた職人技。このように並ぶと、その美しさと清らかさに圧倒されます。新年には木型で打ったお干菓子が初春を告げます。(文 十代目女将)

創業1716年 京菓匠 笹屋伊織
京都市下京区七条通大宮西入花畑町86 (火曜日定休)
TEL. 075-371-3333 イオリカフェも併設。